



鎌倉市民文化祭 2011

鎌倉交響楽団



第98回定期演奏会

2011年11月5日(土)

午後2時開演

鎌倉芸術館大ホール

[後援] 鎌倉市教育委員会・鎌倉エフエム放送

プロフィール

指揮 / 三原 明人 (みはら あきひと)



東京生まれ。東京芸術大学でヴィオラを専攻、その後桐朋学園とウィーン国立音楽大学で指揮法を学ぶ。

89年、オランダで行われた第2回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールで第2位、93年ドイツ・ハレで開催された若手指揮者育成のための「DIRIGENTEN FORUM」で最優秀ファイナリスト、96年ポルトガルで行なわれた第8回リスボン国際青年指揮者コンクール第3位(1位なし)入賞。

ウィーン・フィルのコンサートでレナード・バーンスタインのアシスタント、ベルリン・フィルでクラウディオ・アバドのアシスタントなど研鑽を積みながら、ヨーロッパと日本を中心に活動。これまでにオランダ放送フィル、ドイツ・ハレ国立フィル、プタペストMAV響、リスボン・メトロポリタン管、フィンランド・クオピオ響、読売日響、東京都響、日本フィル、東京フィル、東京交響楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、神奈川フィル、名古屋フィル、オーケストラアンサンブル金沢、大阪センチュリー

響、広島交響楽団、俊成ウインドなどを指揮して、コンサート、TV、ラジオなどへの放送録音、CD・映画音楽製作など各方面から高い評価を得ている他、愛知県立芸術大学管弦楽団指揮者として、現在は東京音楽大学にて後進の指導にも務めている。

97年フィンランド・クオピオ響を率いて日本公演を行い、13曲にも及ぶオール・シベリウス・プロを指揮して各方面から高く評価された。1998年にはブルガリアの名門ソフィア・フィル定期にデビュー、ベートーベン、ブラームスなどの交響曲でソフィアの聴衆を熱狂させた。2003年には阪神大震災被災児救援のためのチャリティ・コンサート「続けなければ続かない」(大阪)に出演、十河陽一作曲の新作「木漏れ日、そして祈り」(初演)などを指揮し、各紙に大きく取り上げられた。2004年には京都フィル定期にて、ピニャオのマリンバ協奏曲の日本初演を含む現代音楽のみによるプログラムを指揮、特に武満の「トゥリー・ライン」とシェーンベルクの室内交響曲は京都新聞、音楽の友誌上で絶賛された。

今後の活躍が期待される、注目の実力派指揮者。

フルート / 小出 信也 (こいで しんや)



15才の時からフルートを始め、故林りり子に師事。翌年から桐朋学園で本格的な音楽の教育を受けはじめる。16才で独奏者として文化放送に出演し、18才の時には第25回毎日音楽コンクールで第2位入賞すると共に早くも演奏活動を開始。21才でNHK交響楽団へ入団。68年にはフランス政府給費留学生として渡仏、J.P.ランバル、クリスティアン・ラルデ等に師事。またザルツブルグのモーツァルトウムにてKH.ツェラーに師事。フランス国立放送にも度々ソリストとして出演した。78年には第1回パリ国際フルートコンクール(後のランバルコンクール)の審査員として招待された。この時のパリでのリサイタル、師のクリスティアン・ラルデとチェンバロのユゲット・デュルフィスとの共演による「バロック音楽の夕べ」で好評を博す。N響においても度々ソリストとして出演し、プロデクのフルート協奏曲を日本初演、またモーツァルトの第1、第2協奏曲、フルートとハーブのための協奏曲、バッハのブランデンブルク協奏曲の4、5番、ドップラーのハンガリー田園幻想曲等を協演。またジョリヴェ来日の際には作曲家ジョリヴェ自身の指揮によるフルート

協奏曲第2番の日本初演とLP録音を行った。その他国内外の演奏家との共演も多く、故安川加寿子と「フランス音楽の夕べ」、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団、シユトウツガルトゾリステン等との共演も数多く行う。統合直前の旧東ドイツ各地ではライブツィッヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のチェロ首席奏者Y.J.ティム、コンサートマスターのG.カルトオーフェン達と室内楽で共演して好評を得た。98年に39年間在籍し、首席奏者を努めたN響を定年退職。在職中、団功労者に贈られる有馬賞を受賞。2000年9月、ブラハのThe Mirror Chapel of the ClementinumにてNostitz String Quartetとモーツァルトのフルート四重奏曲ニ長調を、またPrague Chamber Stringsとヴィヴァルディのフルート協奏曲の3、4番を協演し、好評を博した。

03年に笛吹き50年を記念してCD KOIDESSIMO II を発表、月刊誌レコード芸術12月号で「特選盤」に選ばれた。

現在はソリスト、室内楽奏者として活躍している。

ハーピスト / 杉山 敦子 (すぎやま あつこ)



洗足学園大学音楽部付属高等学校音楽科、洗足学園大学ハープ科卒業後、ドイツ国立ケルン大学へ留学。3年後同大学を首席で卒業。メヒテルト・ロールムス、ヘルガ・シュトルクの各氏に師事。ケルン音楽大学卒業後、同オーケストラと協演。その後、演奏家資格試験に合格。在学中全西ドイツ学生コンクール3位。

その後、ケルン市立歌劇場オーケストラ(ギュルツニッヒオーケストラ)にハーブ奏者として在籍。ドイツ・フランス・イタリア等の演奏旅行に参加。帰国後、東京・横浜でリサイタルを数回開催。東宮御所にてモーツァルト「フルートとハーブの為の協奏曲」を御前演奏。NHK FM「午後のリサイタル」「現代の音楽」に出演。現在はフリーのオーケストラ奏者(来日したオーケスト等多数にも)として、またソリストとして演奏活動を行っている。現在、洗足学園大学講師。

鎌倉交響楽団第98回定期演奏会

Kamakura Symphony Orchestra The 98th Regular Concert

[指揮]：三原 明人

Akihito MIHARA, Cond.

リスト：
Liszt Ferenc

交響詩「前奏曲」
Symphonische Dichtung 'Les préludes'

モーツァルト：
Wolfgang Amadeus Mozart

フルートとハープのための協奏曲 ハ長調
Konzert für Flöte, Harfe und Orchester K.299

----- 休憩 *Intermission* -----

プロコフィエフ：
Сергей Сергеевич Прокофьев (Sergei Sergeevich Prokofiev)

交響曲 第5番 変ロ長調
Симфония (Symphony) No.5 Op.100

プログラム・ガイド

1. 交響詩「前奏曲」／リスト(1811～1886)

1854年に作曲された交響詩(文学や人々の思いなど具体的なテーマやストーリーをオーケストラだけで表現する音楽形式)で、初演はリスト自身の指揮により、同年にドイツのワイマールで行われました。レプレリュードとは、前奏曲という意味です。リストは楽譜の序文に「我々の生涯は死によって開かれる未来の国への前奏曲に他ならない。現世は愛によって明けるが苦闘の嵐の中に暮れる。自然の美しさは心に平安を与えるが、ひとたび戦いのラッパが鳴れば人は必ず戦場に帰るものだ」と記し、曲中で自らの人生観を歌い上げています。

曲は2つの主題を用いた、4部構成(緩 - 急 - 緩 - 急)の形式を持つ一種の変奏曲です。第1部は低音楽器が死へと向かう人生の始まりを暗示する主題、そしてホルンが豊かに第2主題を奏し、変奏します。第2部は人生の嵐が描かれ、金管楽器のファンファーレが鳴り響き、第3部はオーボエの美しい旋律と共に始まる嵐の後の慰めの音楽、静かで平和な田園生活が描かれます。そして第4部は運命に果敢に挑戦する勇ましい行進曲です。高音楽器が急速に音階を上下する中で金管楽器が華やかにファンファーレを奏し、続いて冒頭の主題から変奏された全合奏の行進曲へ発展します。最後は速度を落とし、死の主題を変形した旋律を高らかに奏して華々しく曲を閉じます。

(Fig N.Y)

2. フルートとハープのための協奏曲 八長調／モーツァルト(1756～1791)

35歳の生涯で数多くの傑作を残した天才作曲家モーツァルトの珠玉の名曲といえるこの作品は、1778年3月から9月までのモーツァルトパリ滞在中に、熱心なアマチュアフルート奏者であったド・ギーヌ公爵とハープを嗜む娘のために作曲されました。

フルートとハープの組み合わせは、室内楽ではたくさんありますが、協奏曲の中では大変珍しいです。しかし、当時のパリではこの二つの楽器は人気で、とりわけハープは、マリー・アントワネットをはじめ上流の夫人令嬢たちがたしなみとして演奏することが流行しておりました。

モーツァルトは、まだ未完成だったこれらの楽器を気に入らなかったようですが、決して手を抜かず才能を思う存分発揮し、華やかで美しく優雅なフランス風サロン音楽に仕上げました。

- ・ ソリスト二人を含む全楽器による祝祭めいた華やかで生き生きとした分散和音から始まる第一楽章
- ・ 弦楽器とソロ楽器のみで演奏される穏やかでエレガントな第二楽章
- ・ 次々と軽やかで快活な旋律が繰り出されるロンド形式の第三楽章

楽章間のコントラストも鮮やかで、一度聴いたら耳に残る親しみやすく魅力にあふれた曲になっています。ちなみに、第二楽章「アンダンティーノ」は単独でも演奏される有名曲ですが、映画「アマデウス」ではサリエリがモーツァルトの才能に驚愕し嫉妬する場面で効果的に使われています。また、漫画「ベルサイユのばら」の一場面にド・ギーヌ公爵の娘が、モーツァルトがフルートとハープの協奏曲を書いた人として出てきていたりもします。

(FL H.T)

3. 交響曲 第5番 変ロ長調／プロコフィエフ(1891～1953)

鎌倉交響楽団では、第93回定期演奏会(2009年7月)にて、旧ソビエトを代表する音楽家ショスタコーヴィッチの交響曲第5番を演奏していますが、プロコフィエフもまた、旧ソビエトを代表する、そして、その政治に翻弄された音楽家です。曲の紹介の前にプロコフィエフについて簡単に紹介します。

プログラム・ガイド

プロコフィエフは1891年4月にウクライナの農村に、農業管理技術者の父と農奴の家の出身ながら農奴解放(1861)により教育の機会を得て高い知性を身につけた母の間に生まれました。早くから音楽の才能を開花させ、1904年13才の時、1906年生まれのリムスキー＝コルサコフも後に学ぶサンクトペテルブルグ音楽院に入学、1914年にピアノ科を首席で卒業しています。1913年と音楽院卒業後の1914年の二度にわたるヨーロッパ旅行で西欧音楽や文化に触れ、1917年には第5番と並び有名な第1番「古典」を作曲しています。1917年のロシア11月革命では、アメリカに亡命、以後、欧米で活躍します。(この渡米の際、来日しています。)

ソビエトでの活動は1932年までありませんでしたが、この年から長期滞在して作曲活動をするスタイルで活動をはじめ、1935年にはモスクワ定住を決断。スペイン出身の夫人を伴って帰国しました。プロコフィエフ自身は、自分の音楽を实践する場としてソビエトが相応しいとの判断からの帰国でしたが、当のソビエトでは、すでにショスタコーヴィッチがその西欧風の作風により批判される事態となっていました。(1936年、ショスタコーヴィッチは厳しい批判を受け、その名誉挽回のため1937年に交響曲第5番を作曲し、復権を果たしています。)帰国後は、渡航許可が得られることが減り、ソビエト国内での活動が専らとなります。プロコフィエフもその西欧風の作風のため音楽活動に差し障りが生ずることもありましたが、スターリン大賞を授与される等、特権的音楽家として遇されました。しかし、1948年のジターノフ批判では、ショスタコーヴィッチともども批判に晒され、1953年、失意のままスターリンと同じ日にこの世を去りました。

このような運命を辿ったプロコフィエフですが、本日演奏する交響曲第5番は、特権的音楽家として活躍していた1944年に、第二次世界大戦を戦っていた祖国ソビエトに対して貢献したいとの思いから作曲したものです。

初演は、1945年3月モスクワで催されたドイツ軍包囲からのレニングラード(現在のサンクトペテルブルク)解放祝賀祭で、作曲家自信の指揮によりモスクワ国立音楽院大講堂で行われました。この時の演出は祝砲20発が鳴り終わった直後に曲が始まるというもので、その演奏はソビエト全土にむけてラジオ放送されました。このように、背景に戦争がある曲ではありますが、一方で第1楽章、第3楽章は大変抒情的でありプロコフィエフの特色をなしています。曲は次の4つの楽章から成ります。

第1楽章 - Andante 変口長調、4分の3拍子。ソナタ形式。

フルートとファゴットが奏でる第一主題から曲が始まります。続いて低音楽器による楽想が現れ、やがて第二主題にあたる抒情的な旋律がフルートとオーボエによって演奏されます。その後いろいろな楽想が様々に組み合わせられ展開、第一主題が金管によりコーラルのように再現され重々しく終わります。

第2楽章 - Allegro marcato 二短調、4分の4拍子。三部形式。

最初にクラリネットにより提示される楽想が印象的なスケルツォです。

第3楽章 - Adagio へ長調、4分の3拍子。

クラリネット、フルート、ヴァイオリンと受け継がれて行く旋律が大変美しいアダージョです。

第4楽章 - Allegro giocoso 変口長調、2分の2拍子。ロンド・ソナタ形式。

第1楽章と同様、フルートとファゴットの旋律から曲が始まります。チェロによるコーラルが第1楽章の主題を再び奏でると、続いてクラリネットがこの楽章の主題を歌います。中間部では低弦がブラームスの交響曲第1番フィナーレのコーラルのような荘厳な旋律を奏でます。やがて曲は長大なコーダに入り、華々しくエンディングを迎えます。

(Fg K.M)

団員出演者名簿

団長：山本 賢二
ライブラリアン：石橋 智子

コンサートマスター：五味 俊哉
事務局長：田中 幸一
会計：曾根 民子

マネジャー：芥川 敬/今城 信彦
桐本 圭三/鈴木 渉子
鈴木 美緒

1st Violins

- 石川 静
- 石川 雄太
- 岩谷 孝士
- 大野 清美
- 川西 寛
- 河原 圭三
- 桐本 俊哉
- 五味 渉子
- 鈴木 麗子
- 須根 民子
- 富岡 陽子
- 福山 彩子
- 本山 彩子
- 森野 桂子
- 山岡 祐介

2nd Violins

- 青木 淑子
- 新井 俊成
- 石橋 智子
- 梅原 哲郎
- 小川 稜
- 五味 晶
- 佐藤 理洋
- 重兼 文恵
- 白水 千晶
- 菅井 直介
- 関口 杏奈
- 多田 廣之
- 中橋 美木子
- 二川 賢一
- 望月 由佳子
- 八木 育江

Violas

- 阿部 明美
- 大貫 歩美
- 梶 成彦
- 佐々木 敬史
- 高橋 良子
- 高村 俊彦
- 築山 祐子
- 中村 文江
- 中村 恵
- 正木 基身
- 三門 サカエ
- 水上 清

Violoncellos

- 飯田 達男
- 伊東 敦
- 梶 淳子
- 佐藤 洋子
- 重兼 寿夫
- 志村 篤子
- 鈴木 達広
- 中井 良樹
- 中野 太一朗
- 二川 有子
- 毛利 史子
- 若山 五郎

Contrabasses

- 大内 達郎
- 佐藤 正孝
- 中村 安孝
- 原 宏造
- 廣瀬 澄夫
- 福島 晋哉
- 矢野 健

渡辺 均

Flutes & Piccolo

- 曾根 美樹
- 高橋 弘子
- 高畑 裕恵
- 横山 かおり

Oboes

- 桑野 若菜
- 清水 里美
- 中橋 英純
- 山崎 一哉
- 山本 賢二

Clarinets

- 内田 千枝子
- 片山 真知子
- 篠原 祐子
- 鈴木 美緒
- 前沢 実哉
- 望月 俊哉

Bassoons

- 富井 一夫
- 三原 一真
- 矢吹 紀子

Horns

- 稲生 真莉
- 臼井 賢司
- 菊地 信子
- 服部 絵里子
- 宮崎 敏幸
- 山崎 和之彦
- 山田 克彦

Trumpets

- 後藤 三穂子
- 竹内 純子
- 津金 勝枝
- 浜野 耕平
- 福地 稔栄

Trombones & Tuba

- 有賀 功
- 桜井 貴志
- 瀬島 一海
- 府川 創作
- 煤孫 さえ子

Percussion

- 今城 信彦
- 鈴木 謙人
- ※ 鈴木 真吾
- 高橋 正彦
- 蓑田 俊之
- ※ 小泉 弥生

Harp

- ※ 藤木 沙織

Piano

- ※ 坂元 陽子

- ：パートリーダー
- ：団友
- ※：賛助出演

♪ 今回の演奏会にあたり、ご指導いただいた先生方<五十音順、敬称略>♪
平林 剛、柳澤崇史

表紙のロゴマークについて

鎌倉交響楽団は来年創立50周年を迎えます。それを記念して団員公募でロゴマークをつくりました。「鎌響」の顔として皆様に親しんでいただければと存じます。

Implant Center KAMAKURA



田中歯科御成町

インプラント・審美歯科
鎌倉駅西口みずほ銀行向かい・勝烈庵2階
TEL&FAX 0467-24-0882 <http://www.tanaka-dc.com/>

鎌倉交響楽団 演奏会のご案内

◆日本語で歌う「第九」2011 歓喜の歌(依頼演奏会)

- ・日時：2011年12月18日(日)
14:30開場 15:00開演
詳細は鎌倉芸術館にお問い合わせ下さい
- ・場所：鎌倉芸術館 大ホール
- ・入場料：¥1,500- (全席指定)

◆鎌倉交響楽団 第52回室内演奏会

- 団員有志によるアットホームな演奏会です。
- ・日時：2012年1月29日(日)14時開演予定
- ・場所：鎌倉生涯学習センターホール
- ・入場料：無料
- ・詳細未定

◆鎌倉交響楽団第10回ファミリーコンサート

- ・日時：2012年3月3日(土)14時開演予定
13:30よりプレコンサート(予定)
- ・場所：鎌倉芸術館 大ホール
- ・入場料：¥1,000- (全自由席・当日券有 予定)
- ・指揮：角 岳史
- ・曲目：ショパン ピアノ協奏曲第一番
ハチャトゥリアン 組曲「仮面舞踏会」ほか

◆鎌倉交響楽団 第99回定期演奏会

- ・日時：2012年6月9日(土)14時開演予定
13:30よりプレコンサート(予定)
- ・場所：鎌倉芸術館 大ホール
- ・入場料：¥1,000- (全自由席・当日券有 予定)
- ・指揮：山上純司
- ・曲目：チャイコフスキー ピアノ協奏曲第1番
ドボルザーク 交響曲第9番「新世界より」ほか

<http://homepage2.nifty.com/kso/>

和風居酒屋 花のれん

▷ 営業時間 ◁

平日 PM4:30~AM12:00 休日 PM3:00~AM12:00
大晦日・元旦 休業

☎(0467)46-0080



信頼と確かな技術の店 メガネの専門店

八幡宮前通り

森川眼鏡店

メガネの事ならなんでも相談
お気軽に。



- 遠中近多焦点レンズ
 - 中近多焦点レンズ
 - 近近用レンズ
- あなたに合ったメガネ
を御調整致します。



HAIR SALON

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2
(ヤのヤビルB1)
TEL.(0467)22-4105

健保・労災取扱

大船 接骨院

佐藤和義

大船駅東口ルミネ前

サトウビル

☎0467(45)6700(代)

輸入楽譜専門

全国すぐ
郵送します。



KAMAKURA
MUSICJA

(株)カマクラムジカ

TEL.0467-24-8766

FAX.0467-22-9755

〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-1-33

<http://www.kamakura-musica.com/>

定休日 = 日曜日・祝祭日

TAKUZO

弦楽器製作・修理・販売

弦楽器工房 拓蔵

神奈川県横浜市港北区

篠原町1497-11

TEL&FAX: 045-423-4233

■営業時間: 10:00~19:00

※10:00~13:00 予約制

■定休日: 日・月・祝祭日



vn-takuzo.com



耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

芋川耳鼻咽喉科クリニック

鎌倉・小町壺番館ビル3階 院長 芋川英紀

電話 (24)7273

鎌倉といえば...

鳩サブレー



豊島屋

鎌倉八幡宮前通り
TEL 0467-25-0810(代)

世界で一番小さいデパート

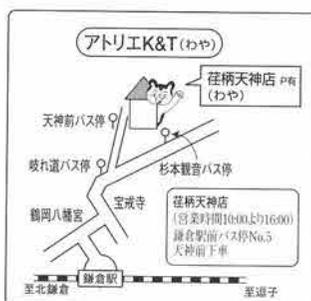


アトリエ K&T (わや)

「食料品から衣料品まで」

古布ちりめんの香袋など
オリジナル商品、かわいいもの、素敵なもの、
両手いっぱいにあります!

営業時間/10:00~16:00 営業日/木、金、土
〒248-0002 鎌倉市二階堂38-9 TEL.0467-24-5918



フリーダイヤル 0120-50-2615
<http://homepage3.nifty.com/k-t/>



Bank of Yokohama

Afresh あなたに、あたらしく。

横浜銀行 鎌倉支店

TEL:0467-23-3131

《製作・修理・毛替・販売》

弦楽器工房かわばた



TEL.045-261-5300 〒231 横浜市中区花咲町2-77 大久保ビル2F ●営業時間/ AM10:00~PM7:00 (日・祭休み)